

DIW 訪問報告書

訪問箇所	ドイツ経済研究所 (DIW)
訪問都市	Berlin, Germany
訪問日	平成 29 年 11 月 29 日(水) 11 時 00 分～12 時 00 分
訪問者	諸富徹(京都大学)、東愛子(尚絅学院大学)、中山琢夫(京都大学)、小川祐貴(京都大学)、山東晃大(京都大学)
対応者	Giorgio Corbetta
ヒアリング内容	
ヒアリングの背景	<ul style="list-style-type: none"> • 諸富：3.11以降、METIも再エネと電力システム改革 (FIT) へ。再エネ6% (2010年2%) になった。 • 地域大手電力会社がシステムをコントロールしている ⇨ 再エネの締め出し • 最近のデータでは、システムの設備利用率は20%しか使われていない (大手電力会社の主張と違う) • どのような電力会社が今後良いか、再エネを融合した電力市場について聞きたい
Wholesale について	<ul style="list-style-type: none"> • ドイツ (single price) • BRP：発電と需要を需給調整する ⇨ はみ出た分はインバランス料金を支払う • 北部の風力と南部の電力需要の接続えお促す • システム運営： • 予測不可なシステム ⇨ 制約とリスクは天気予報技術で改善している • TSOも天気予報をしている、もし風力発電が急に落ちたら、どのように電力をマネージするか考えなくてはならない
電力市場の single price について	<ul style="list-style-type: none"> • ドイツはsingle priceを守ろうとしている • 小川：intraday auction：day aheadマーケットはsingle price ⇨ intra day

	<ul style="list-style-type: none">• A : single priceなのは、4年間intraday取引。pricing zone、政治的な問題• 諸富 : もしzone priceになったら、南部の電力は高くなる？• A : 北部は風力、南部はソーラー。もし南北系統を増強しなければ
--	---